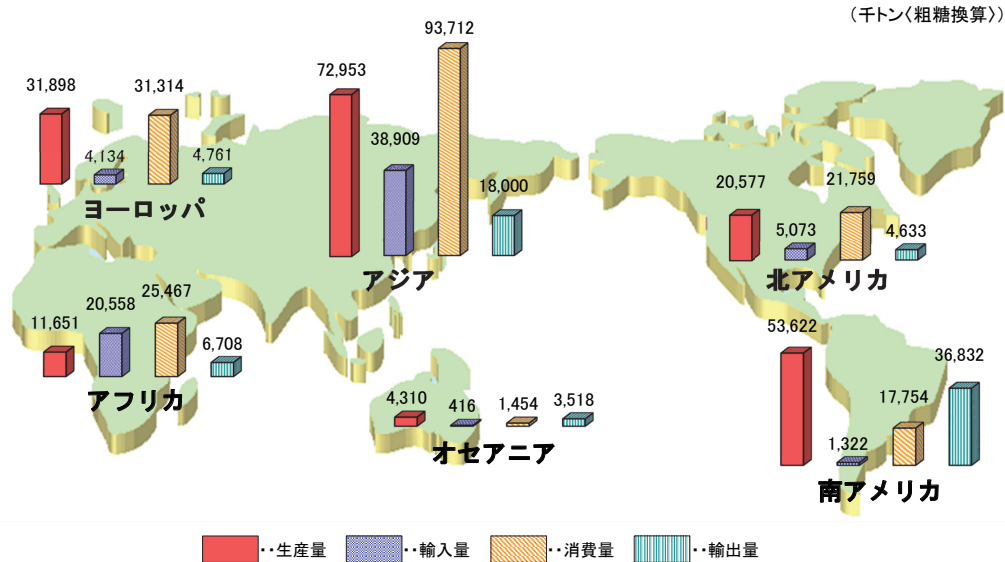


砂糖の国際需給

調査情報部 福寿 悠星

1 世界の砂糖需給（2024年12月時点予測）

図1 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2024/25年度予測値）



資料：英国の民間調査会社GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, December 2024」
 注1：年度は、国際砂糖年度（10月～翌9月）。
 注2：ヨーロッパには、ロシアを含む。

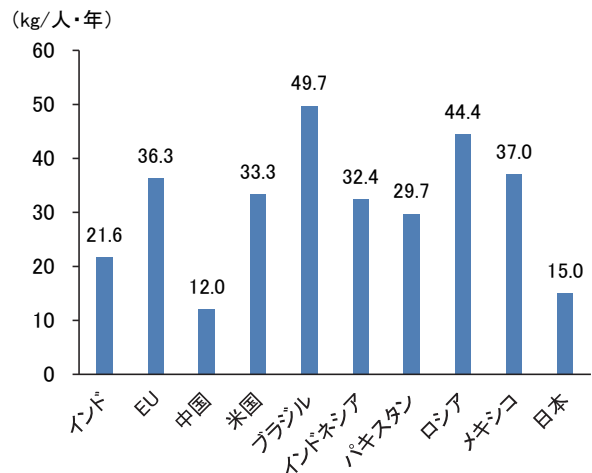
GlobalData UK Ltd.による2024年12月時点の予測によると（以下、特段の断りがない限り同予測に基づく記述）、2024/25砂糖年度（10月～翌9月）の世界の砂糖生産量は、1億9501万トン（粗糖換算（以下、特段の断りがない限り砂糖に関する数量は粗糖換算）、前年度比0.3%減）と前年度並みが見込まれている（表）。生産量第1位のブラジルや同第2位のインドで減産が見込まれる一方、EUや中国などでは増産が見込まれている。

また、同年度の世界の砂糖消費量は、1億9146万トン（同0.5%減）とわずかに減少が見込まれている。消費量上位のインド、中国、EUでは増加が見込まれているものの、ブラジルは前年度並み、米国は減少が見込まれている。

この結果、期末在庫率は前年度並みの41.6%と見込まれている。地域別の砂糖需給の予測値は、図

1の通りである。また、主要消費国・地域の1人当たり砂糖消費量は図2の通りである。

図2 1人当たり砂糖消費量（2024/25年度）



資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, December 2024」
 注1：年度は、各国の砂糖年度。
 注2：EUには、英国を含む。
 注3：主要消費国・地域上位9カ国・地域および日本を表示。

表 世界の砂糖需給の推移

(単位：千トン〈粗糖換算〉、%)

年度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1994/95	47,925	116,773	31,660	112,814	32,499	51,044	45.2
1999/00	67,740	133,221	36,622	127,777	39,758	70,049	54.8
2004/05	70,829	144,294	47,173	146,617	50,894	64,785	44.2
2009/10	63,959	159,897	55,868	164,424	55,991	59,309	36.1
2014/15	75,474	183,661	60,890	177,018	62,427	80,582	45.5
2019/20	90,049	181,856	69,502	182,737	71,625	87,045	47.6
2020/21	87,045	181,996	66,802	185,213	68,005	82,626	44.6
2021/22	82,626	186,271	69,260	188,721	71,065	78,371	41.5
2022/23	78,371	190,577	70,802	190,828	71,328	77,593	40.7
2023/24	77,593	195,665	75,862	192,519	76,482	80,120	41.6
2024/25 (2024年12月予測)	80,120	195,011	70,413	191,461	74,452	79,631	41.6

資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, December 2024」

注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。

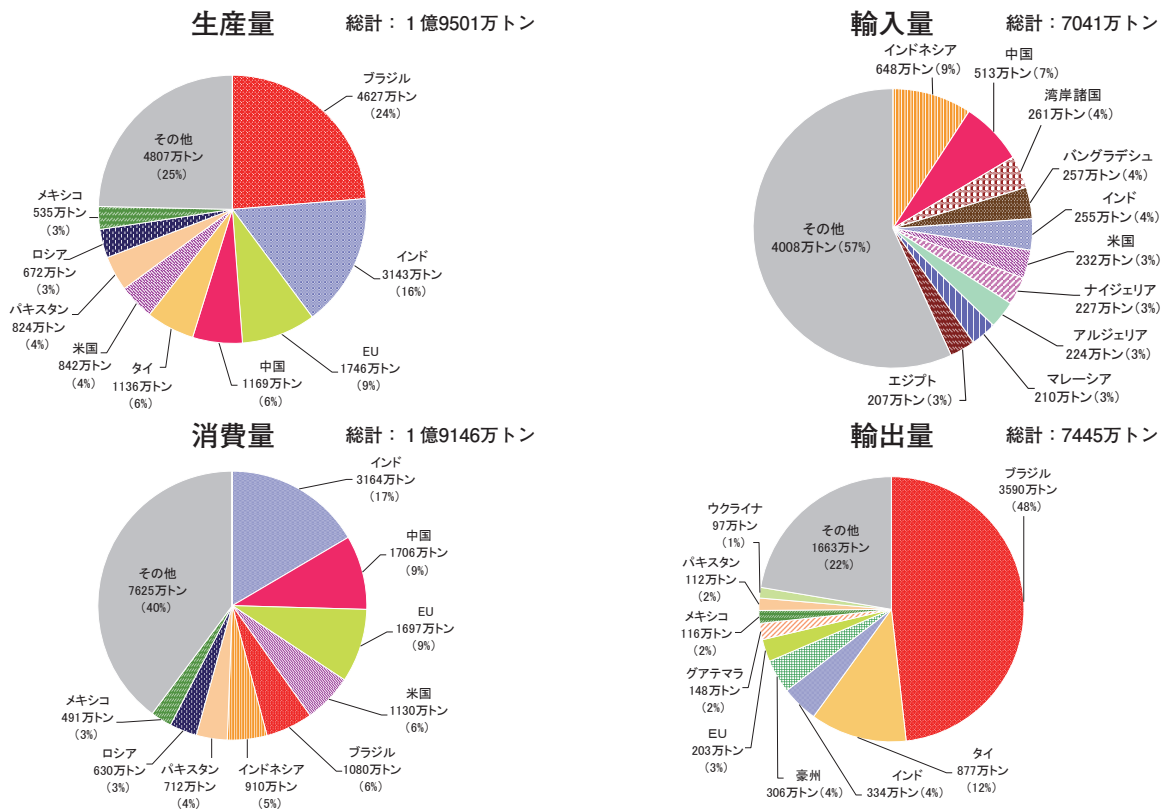
注2：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注3：期末在庫量は（期首在庫量＋生産量＋輸入量－消費量－輸出量）。

注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

2 主要国の砂糖需給（2024年12月時点予測）

図 主要国の生産量、輸入量、消費量、輸出量（2024/25年度）



資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, December 2024」

注1：年度は、各国の砂糖年度。

注2：各数量においては、その主要国とその他を表示。カッコ内はシェア (%)

注3：「その他」は、総計から主要国の計を差し引いた数値。

注4：端数処理の関係で内訳の合計が総計と一致しないまたは100%にならない場合がある。

注5：EUは、英国を除く27カ国。また、湾岸諸国とは、アラブ首長国連邦、バーレーン、カタール、オマーンの4カ国を指す。

【生産量】

ブラジルは、主産地である中南部地域の干ばつがサトウキビの作柄や生産量に悪影響を及ぼしたことなどから、4627万トン（前年度比6.2%減）とかなりの程度減少が見込まれている（図）。

インドは、サトウキビの収穫面積の減少に加え、政府が製糖工場でのサトウキビ由来のエタノール生産制限を解除したことなどから、3143万トン（同9.4%減）とかなりの程度減少が見込まれている。

EUは、生産量上位国であるフランス、ドイツ、ポーランドを中心にてん菜の収穫面積の増加が見込まれることから、1746万トン（同6.5%増）とかなりの程度増加が見込まれている。

中国は、サトウキビの主産地である広西チワン族自治区の一部で9月の台風による被害があったものの、それ以降は良好な天候に恵まれたことでサトウキビの増産が期待され、1169万トン（同25.5%増）と大幅な増加が見込まれている。

【輸入量】

インドネシアは、人口の増加に伴い砂糖の消費量が順調に伸びていることから、輸入量は648万トン（同16.1%増）と大幅な増加が見込まれている。

中国は、引き続き国内の需給ギャップ是正のため、

ブラジルからの輸入を軸に一定の輸入量が見込まれるものの、砂糖の増産などを背景に513万トン（同31.4%減）と大幅な減少が見込まれている。

【消費量】

インドは、堅調な需要に後押しされ、3164万トン（同1.6%増）とわずかに増加し、世界の砂糖総消費量の17%を占めると見込まれている。

消費量第2位の中国は、1706万トン（同0.6%増）、同第3位のEUは、1697万トン（同1.8%増）といずれもわずかに増加するものの、同第4位の米国は1130万トン（同0.9%減）とわずかに減少が見込まれている。

【輸出量】

ブラジルは、生産量の減少に伴い3590万トン（同4.7%減）とやや減少する一方、タイは、収穫面積の増加などでサトウキビの増産が見込まれることから、877万トン（同49.0%増）と大幅な増加が見込まれている。

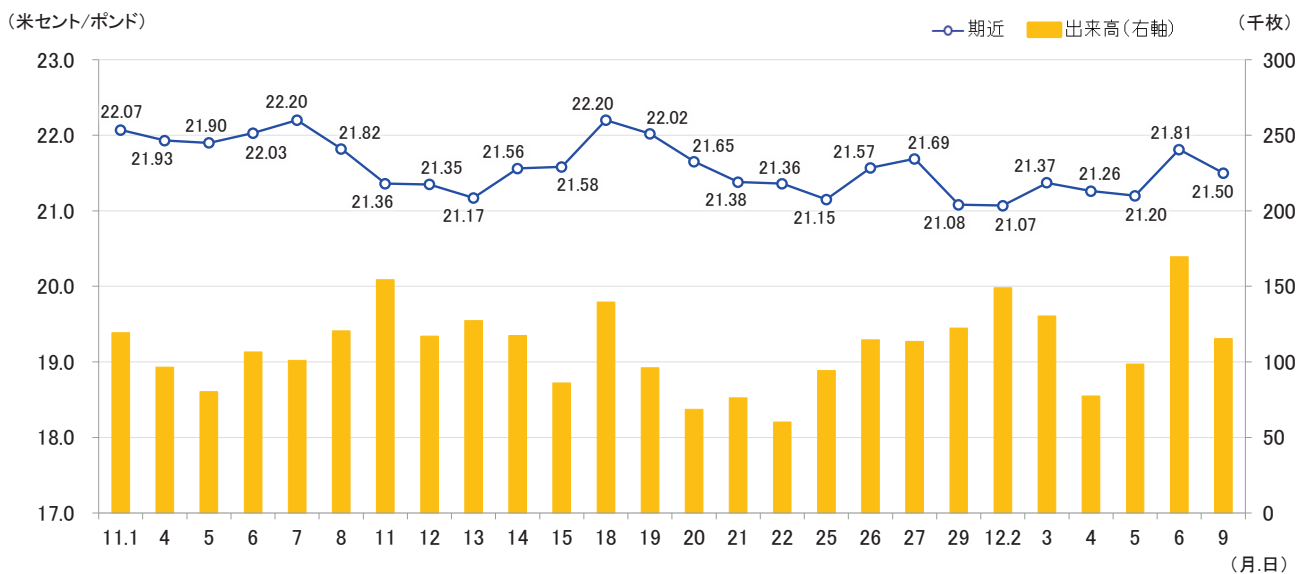
インドは、政府による輸出制限の継続やサトウキビ由来エタノールの生産解禁により、334万トン（同25.5%減）と大幅な減少が見込まれている。

3 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き（11/1～12/9）

～ 11月は21から22セント台の間で上昇・下落を繰り返す～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所
注：期近3月限の値。

2024年11月のニューヨーク粗糖先物相場（3月限）の推移を見ると、1日はリアル安^{（注1）}により1ポンド当たり22.07セント^{（注2）}と前取引日から0.67セント下落した。4日はブラジルの降雨予報で干ばつの懸念が和らいだことで弱含み、5日には同21.90セントとなった。6日以降はリアル高により上昇したが、8日以降はリアル安と原油安^{（注3）}で下落し、13日には同21.17セントとなった。14日以降はブラジルの製糖工場で季節的な操業停止期間を前倒しする工場が増える見通しなどを受けて上昇し、18日には同22.20セントとなった。19日以降はタイの増産によりブラジルでの工場閉鎖に伴う供給不足の懸念が和らいだことに加え、国際砂糖機関（ISO）が砂糖不足の予測値を引き下げたことで下落し、25日には同21.15セントをつけた。26日以降はブラジルサトウキビ産業協会（UNICA）が

中南部地域での砂糖減産を発表したことなどから上昇したものの、29日はブラジルリアルが対米ドルで過去最低値を記録したことから、同21.08セントまで下落した。

12月に切り替わると、2日は引き続きリアル安により弱含んだが、3日は原油高により上昇した。4日以降は世界的な供給回復の見通しから緩やかに下落したものの、6日はブラジルの中南部地域における降水量減少予測により上昇し、同21.81セントとなった。しかし、9日は同地域における降雨予報が発表されたことで同21.50セントと下落した。

（注1）粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してリアルが下落すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が高まる。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が高まると、需給の緩和につながることから、価格を押し下げる方向に作用する。

(注2) 1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。

(注3) 一般に、原油価格が下落すると、石油の代替燃料であるバイオエタノールの需要も減少する。バイオエタノールの需要減少により、その原料作物(サトウキビ、てん菜など)のバイオエタノール生産

への仕向けが減る一方、それらから生産される食品(サトウキビの場合は砂糖)の生産・供給が増えると想定される。食品用途仕向けの度合いが大きくなるほど需給が緩和し、当該食品の価格を押し下げる方向に作用する。

4 世界の砂糖需給に影響を与える諸国の動向(2024年12月時点予測)

ブラジル

2024/25年度(4月~翌3月)の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：876万ha(前年度比4.2%増)
生産量：6億6940万トン(同6.1%減)

【砂糖(甘しや糖)】

生産量：4627万トン(同6.2%減)
輸出量：3590万トン(同4.7%減)

2024/25年度のサトウキビ生産量はかなりの程度減少する見込み

2024/25年度(4月~翌3月)のサトウキビ収穫面積は、876万ヘクタール(前年度比4.2%増)とやや増加が見込まれている(表)。一方、サトウキビ生産量は、主産地である中南部地域の干ばつや火災の影響を受け、6億6940万トン(同6.1%減)とかなりの程度減少が見込まれている。

砂糖生産量は、干ばつや火災によるサトウキビの減産を背景に、4627万トン(同6.2%減)とかなりの程度減少が見込まれている。砂糖輸出量は、インド産砂糖の輸出制限から、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖の堅調な需要が期待されるものの、減産を背景に3590万トン(同4.7%減)とやや減少が見込まれている。

表 ブラジルの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

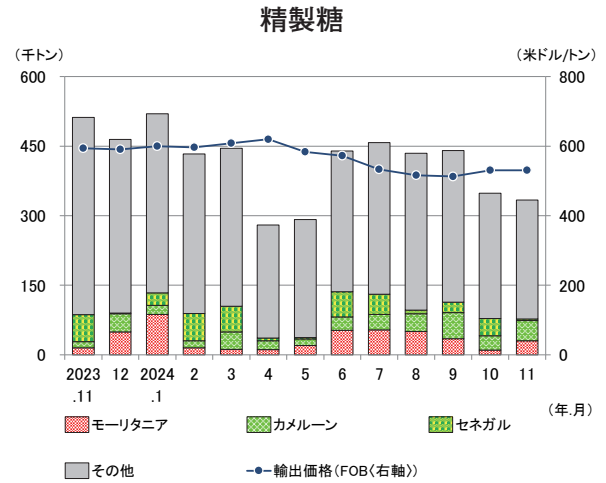
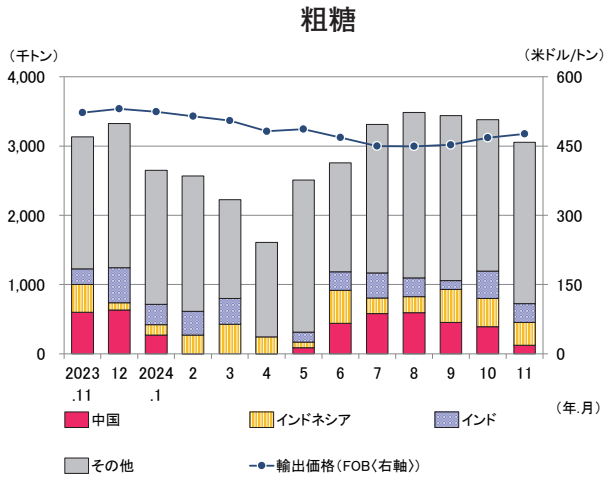
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (11月予測)	2024/25 (12月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	8,672	8,421	8,408	8,760	8,760	4.2%
サトウキビ生産量	576,707	606,676	713,134	664,500	669,400	▲6.1%
砂糖	生産量	37,600	39,700	49,320	45,820	▲6.2%
	輸入量	5	2	5	4	▲29.8%
	消費量	10,712	10,769	10,800	10,800	0.0%
	輸出量	27,093	28,985	37,678	35,511	▲4.7%
	期末在庫量	3,589	3,537	4,384	3,842	▲9.7%
期末在庫率	9.5	8.9	9.0	8.3	8.5	0.6ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. [Monthly Sugar Information in Major Countries, December 2024]

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖 (粗糖・精製糖別) の輸出量および輸出価格の推移



資料: 「Global Trade Atlas」

注1: HSコード1701.14 (粗糖) および1701.99 (精製糖) の数値。

注2: 輸出量は、直近13カ月 (累計) の上位3カ国・地域を表示。

インド

2024/25年度 (10月～翌9月) の見通し

【サトウキビ】

収穫面積: 517万ha (前年度比6.8%減)

生産量: 4億2249万トン (同5.0%減)

【砂糖 (甘しゃ糖)】

生産量: 3143万トン (同9.4%減)

輸出量: 334万トン (同19.5%減)

2024/25年度の砂糖輸出量は大幅に減少する見込み

2024/25年度 (10月～翌9月) のサトウキビ収穫面積は、517万ヘクタール (前年度比6.8%減) とかなりの程度減少が見込まれている (表)。サトウキビ生産量は、収穫面積の減少と一部地域で発生した赤腐病 (red rot)^(注) の影響により、4億2249万トン (同5.0%減) とやや減少が見込まれている。

砂糖生産量は、政府が製糖工場でのサトウキビ由

来のエタノール生産制限を解除したことなどから、3143万トン (同9.4%減) とかなりの程度減少が見込まれている。砂糖輸出量は、輸出制限の継続やサトウキビ由来エタノールの生産解禁により、334万トン (同19.5%減) と大幅な減少が見込まれている。

(注) 真菌の感染によって引き起こされる病気であり、茎の内部が腐り、赤色に変色する。サトウキビの単収や砂糖の回収率に深刻な影響を及ぼすとされている。

表 インドの砂糖需給の推移

(単位: 千ha、千トン、%)

年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (11月予測)	2024/25 (12月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	5,222	5,441	5,549	5,172	5,172	▲ 6.8%	
サトウキビ生産量	481,599	455,898	444,740	426,423	422,493	▲ 5.0%	
砂糖	生産量	38,559	35,389	34,677	31,323	31,431	▲ 9.4%
	輸入量	427	1,687	3,131	2,552	2,569	▲ 17.9%
	消費量	29,516	30,078	31,158	31,968	31,644	1.6%
	輸出量	12,468	8,646	4,149	3,319	3,339	▲ 19.5%
	期末在庫量	6,472	4,824	7,325	5,738	6,342	▲ 13.4%
	期末在庫率	15.4	12.5	20.7	16.3	18.1	2.6ポイント減

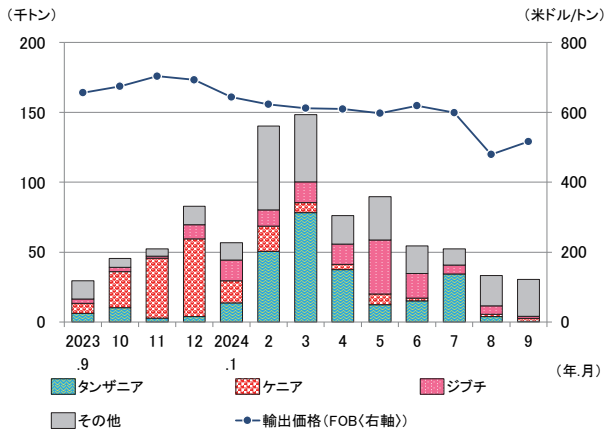
資料: GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, December 2024」

注1: 2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

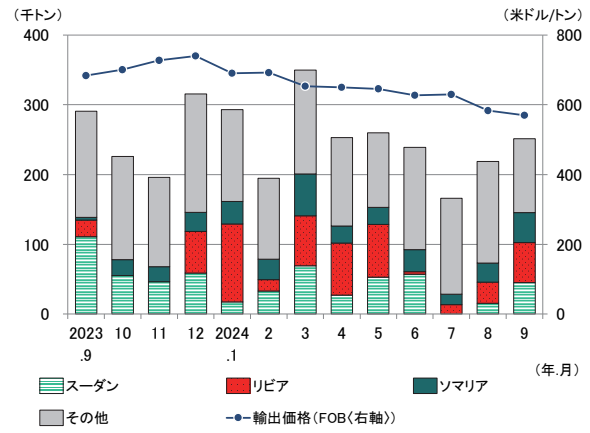
注2: 期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖 (粗糖・精製糖別) の輸出量および輸出価格の推移

粗糖



精製糖



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

中国

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：118万ha（前年度比7.3%増）

生産量：7745万トン（同5.9%増）

【てん菜】

収穫面積：22万ha（同29.3%増）

生産量：1137万トン（同21.3%増）

【砂糖（甘しゅ糖およびてん菜糖）】

生産量：1183万トン（同9.8%増）

輸入量：513万トン（同31.4%減）

2024/25年度の砂糖輸入量は大幅に減少する見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のサトウキビの収穫面積は、118万ヘクタール（前年度比7.3%増）とかなりの程度増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、主産地である広西チワン族自治区と雲南省が天候に恵まれたことで、7745万トン（同5.9%増）とやや増加が見込まれている。

てん菜の収穫面積は、22万ヘクタール（同29.3%増）と大幅な増加が見込まれている。てん菜生産量は、主産地の内モンゴル自治区で8月以降

のまとまった雨が根中糖分上昇の妨げになるという懸念材料はあるものの、これまでの良好な生育状況により、1137万トン（同21.3%増）と大幅な増加が見込まれている。

砂糖生産量は、原料作物の増産を背景に1183万トン（同9.8%増）とかなりの程度増加が見込まれている。砂糖輸入量は、引き続き国内の需給ギャップ是正のために一定の輸入量が予想されているものの、国内の生産見通しが改善していることから、513万トン（同31.4%減）と大幅な減少が見込まれている。

表 中国の砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

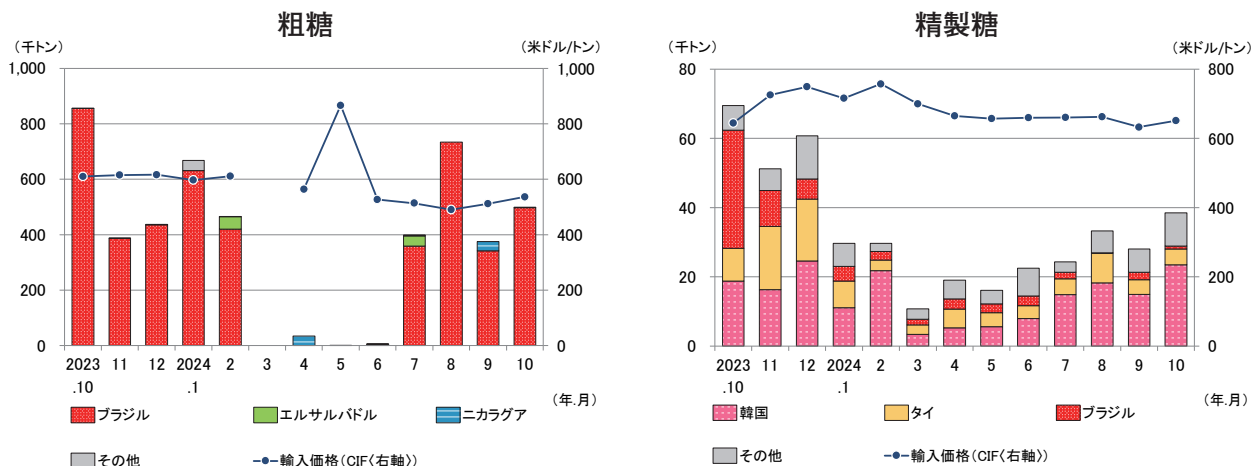
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (11月予測)	2024/25 (12月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	1,119	1,102	1,100	1,180	1,180	7.3%	
サトウキビ生産量	72,136	62,595	73,124	76,353	77,453	5.9%	
てん菜収穫面積	144	182	167	216	216	29.3%	
てん菜生産量	7,070	8,719	9,377	11,371	11,371	21.3%	
砂糖	生産量	10,334	9,698	10,769	11,686	11,827	9.8%
	輸入量	6,968	5,885	7,477	5,751	5,130	▲ 31.4%
	消費量	16,632	16,578	16,956	17,064	17,064	0.6%
	輸出量	172	201	179	195	163	▲ 9.0%
	期末在庫量	15,366	14,171	15,282	15,320	15,012	▲ 1.8%
	期末在庫率	91.4	84.5	89.2	88.8	87.1	2.0ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, December 2024」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 中国の砂糖（粗糖・精製糖別）の輸入量および輸入価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸入量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

注3：2024年3月の粗糖輸入は、実績なし。

注4：2024年5月の粗糖輸入量は、千トン未満。

5 日本の主要輸入先の動向（2024年12月時点予測）

近年、日本の粗糖（甘しや糖・分みつ糖<HSコード1701.14-110>および甘しや糖・その他<同1701.14-200>の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2023年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が91.6%（前年比0.8ポイント増）、タイが8.4%（同0.9ポイント減）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

豪州

2024/25年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：35万ha（前年度比1.1%増）
生産量：2999万トン（同0.8%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：405万トン（同1.8%減）
輸出量：306万トン（同8.9%減）

2024/25年度の砂糖輸出量はかなりの程度減少する見込み

2024/25年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、35万ヘクタール（前年度比1.1%増）とわずかな増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、8月の豪雨と豪州最大の精糖企業で発生したストライキにより収穫が遅れているものの、生育は順調に進んだことから、2999万トン（同

0.8%増）とわずかに増加が見込まれている。

砂糖生産量は、収穫遅れがサトウキビの糖度低下を招く可能性があることから、405万トン（同1.8%減）とわずかに減少が見込まれている。砂糖輸出量は、アジア地域を中心に需要の伸びが引き続き期待されるものの、砂糖の減産見込みにより、306万トン（同8.9%減）とかなりの程度減少が見込まれている。

表 豪州の砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (11月予測)	2024/25 (12月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	343	328	341	340	345	1.1%
サトウキビ生産量	30,123	32,593	29,757	30,079	29,993	0.8%
砂糖	生産量	4,108	4,298	4,128	4,065	▲1.8%
	輸入量	9	8	10	11	▲8.0%
	消費量	1,010	996	995	1,038	1.0%
	輸出量	3,453	2,942	3,356	3,070	▲8.9%
	期末在庫量	813	1,181	967	826	▲0.0%
	期末在庫率	18.2	30.0	22.2	20.1	23.8

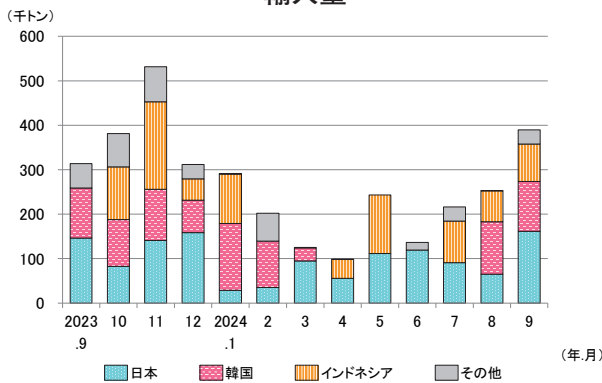
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, December 2024」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

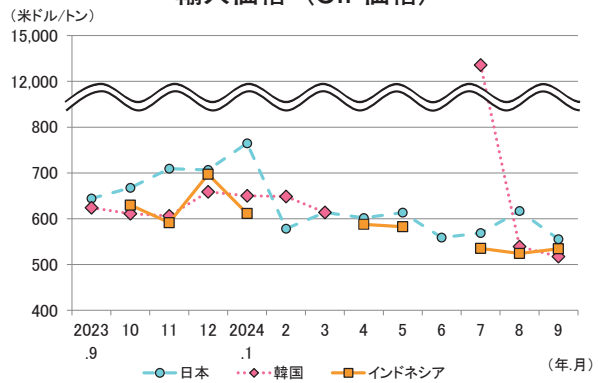
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

（参考）主要国の豪州産砂糖（粗糖）の輸入量および輸入価格の推移

輸入量



輸入価格（CIF価格）



資料：輸入量はGlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, December 2024」、輸入価格は「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）の数値。

注2：直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域とその他の輸入量を表示。

その他は上位3カ国・地域を除いた国・地域の合計。

ただし、GlobalData UK Ltd.の資料に掲載されている国・地域となる。

注3：豪州の輸出に関する月別の統計情報は公表されていないため、主要輸入国の月別の輸入に関する統計情報に基づき作成。

注4：インドネシアの2023年9月、24年2月、3月、6月の輸入量は実績なし。

注5：韓国の2024年4月、5月、6月の輸入量は実績なし。24年7月の輸入量は、千トン未満。

タイ

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：167万ha（前年度比10.0%増）
生産量：9800万トン（同19.3%増）

【砂糖（甘しゅ糖）】

生産量：1169万トン（同25.5%増）
輸出量：877万トン（同49.0%増）

2024/25年度の砂糖生産量および輸出量は大幅に増加する見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、167万ヘクタール（前年度比10.0%増）とかなりの程度増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、収穫面積の増加と良好な気象条件のもと、9800万トン（同19.3%増）と大幅な増加が見込まれている。

砂糖生産量は、23/24年度のサトウキビの減産とCCS^(注)の低さによる減産の反動から1169万トン（同25.5%増）と大幅な増加が見込まれている。砂糖輸出量は、インド産やブラジル産の輸出量減少が見込まれる中、砂糖の増産を背景に877万トン（同49.0%増）と大幅な増加が見込まれている。

(注) 可製糖率：サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表 タイの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

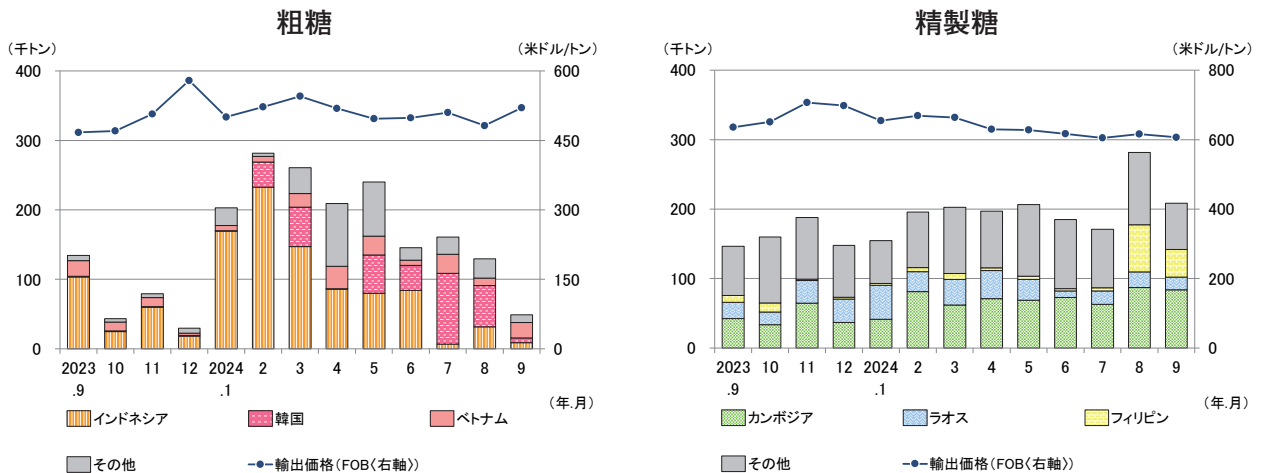
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (11月予測)	2024/25 (12月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	1,525	1,514	1,518	1,670	1,670	10.0%
サトウキビ生産量	91,145	93,888	82,167	98,000	98,000	19.3%
砂糖	生産量	10,643	11,682	9,316	11,691	25.5%
	輸入量	148	317	228	180	31.6%
	消費量	3,424	3,348	3,186	3,219	1.0%
	輸出量	7,867	8,002	5,888	8,652	49.0%
	期末在庫量	1,951	2,599	3,069	2,967	▲0.0%
	期末在庫率	17.3	22.9	33.8	25.0	25.6

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, December 2024」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。